



学校だより

東京都立府中けやきの森学園
〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1
TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476
https://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp
令和6年10月31日(木)発行 第8号

学校経営中間報告について

校長 相賀 直

1 ウェルビーイングを目指した教職員全員参加型の研究・研修及び授業改善

児童・生徒が将来、社会の中で主体的に、より良く自分らしく生きることを目指して、「ウェルビーイング」をキーワードに、日々の授業に取り組んでいます。研究・研修を授業に反映するため、教員一人1実践として、「研究授業」、「授業参観・フィードバック」、「教材作成と活用」から各自が1つ選択して実施しています。

2 カリキュラム・マネジメントによる教育課程の改善

全校で行う研究・研修の時間をカリキュラム・マネジメントタイムと名付け、肢体不自由教育部門では、「自立活動における個々の児童・生徒の中心的課題を自立活動の6区分の項目で整理する」、知的障害教育部門では、「国語・算数・数学の指導内容を3観点の評価規準に基づき整理する」を今年度のテーマと定め、年間3回の短縮日を設け、放課後をカリキュラム・マネジメントタイムに充てています。2年目、3年目は、さらに学部ごとのテーマに分化させていく予定です。

3 東京型教育モデルに基づく教育の充実

(1)「意欲を引き出す学び」については、全教員が児童・生徒の選択や自己決定の機会を多く授業に取り入れるよう工夫しています。保護者の方との目標や指導内容の共有についても3観点を意識し面談をとおして丁寧にお伝えしています。

(2)「社会全体に支えられた学び」については、保護者交流も含めた重層的な学校間交流や、直接副籍交流を現時点で昨年度より多くの児童・生徒について実施しています。また、警察や消防と連携した、各種訓練の取組、企業と連携した社内一日体験や遠隔社会見学、日本財団パラスポーツサポートセンターと連携した白糸台小との「インクルーシブ『ソーラン節』」の取組やラグビーチームとの協働体験なども行っています。

(3)「ICTを活用した学び」については、すべての児童・生徒が日常的に授業で活用するようになってきました。調べ学習、観察記録、学習者間での意見交換・共有など、学級や学習グループで様々な活用がなされ、個別的な学びや協働的な学びが深まっています。また、準ずる教育課程では、引き続きデジタル教科書の活用に関する研究を都教育委員会と連携して進めています。

問合せ

御連絡は、下記までお願いいたします。

◇平日（午前8時30分から午後6時まで） **042-367-2511**（学校の代表番号）

校外学習（井の頭自然文化園）（知的障害教育部門小学部（1、2年））

1年 学年担任 川名 絃史

1、2年生は、井の頭自然文化園に行ってきました。事前学習の映像や写真で見た動物を見つけると、「いたよ！」と先生に伝えることができました。園内にあるスポーツランドでは、新幹線、スカイバスケット、コーヒークップと、3つの乗り物に全員が乗ることができました。昼食は、学校でお弁当の練習をした成果を活かして、シートを敷いたり、ベンチに座ったりしながら美味しく食べることができ、充実した校外学習を過ごすことができました。



校外学習（都立小金井公園）（知的障害教育部門小学部（3、4年））

副学部主任 中井 悠

3、4年生は、小金井公園へ校外学習に行ってきました。「ふわふわどーむ」や「そりゲレンデ」などの遊具で、順番やルールを守りながら楽しく活動することができました。「そりゲレンデ」では少し怖くなってしまいう子もいましたが、事前学習で覚えたそりの正しい乗り方で上手に滑ることができると「もう一回やりたい！」とそりを楽しむことができました。昼食は、公園でシートを敷いてみんなでのお弁当を食べました。子供たちが自分のお弁当に入っている食べ物をお互いに紹介したり、友達や先生とおしゃべりをしたりしながら楽しい時間を過ごしました。



移動教室（高尾の森わくわくビレッジ）（知的障害教育部門小学部（5、6年））

5年 学年担任 柳谷 洋子

5、6年生は、高尾の森わくわくビレッジに行ってきました。事前学習では行程確認のほかに、布団の敷き方やシーツのたたみ方、お風呂に入ったときの体の洗い方など具体的な場面に応じて練習を重ねて行きました。その学習が生かされ、現地では多くの児童が落ち着いて活動に参加できました。ドキドキしてなかなか眠れない児童もいましたが、体調を崩すことなく笑顔で帰ってくる事ができました。児童たちにとっては初めての宿泊行事、楽しい思い出になったことと思います。



「府中市を調べよう」（知的障害部門中学部）～ICT教育の推進～

3年 学年主任 西川 茂雄

知的障害教育部門中学部3年生の総合的な学習の時間では、「やってみたい」、「調べてみたい」という思いを基に、「府中市を調べよう」という単元で、府中市の「お祭り」や「公共交通機関」、「ソウルフード」、「住んでいる先生にインタビュー」など、自分で調べたい課題を設定しました。

自分の住んでいる町に関心を持ち、ICT 機器で一人一人が集めた情報を、友達と協力して、マップにまとめ、整理していくことで、府中市を深く知ることができました。互いのよさを生かしながら、課題解決を図ろうとする態度を育てる学習にも発展しました。これからも様々な教育活動を通じ、生徒一人一人に合った、学びの意欲や関心を高めていく指導を充実させてまいります。



「堆肥を作る過程を知ろう」（肢体不自由教育部門小学部）

堆肥プロジェクトメンバー 小野 快

小学部では、野菜くず堆肥を作る過程を知る学習をしました。普段食べている給食を作る際に出る「野菜くず」を栄養士さんに用意してもらい、給食室前まで皆で取りに行きました。「野菜くず」は「もみ殻」や「腐葉土」、「米ぬか」と一緒に、スコップなどの道具を用いて、よく混ぜて堆肥を作る過程を学びました。児童達は、よく混ざった土に恐る恐る触ったり、握ったり、そっと触れてみたりして、これから堆肥になる土に対して興味津々な様子が見られました。



チャリティーきゃらばん「3びきのこぶた」を鑑賞しました

教務 濱田 隆司

10月15日（火）に劇団「飛行船」の皆さんによる「3びきのこぶた」を鑑賞しました。知的障害教育部門が西体育館に集まり、こぶた達や狼の登場に大歓声を送りました。有名な3びきのこぶたのストーリーですが、かわいらしいこぶた達を食べようと、狼が家を吹き飛ばそうと息を吹きかけるシーンでは、どの子も息を飲んで見守っていました。また、コミカルに3匹がずっこけるシーンでは、大きな笑い声も聞こえてきました。最後は、見送りに出口に集まってくれたこぶたや狼とハイタッチをしたり、記念写真を撮ったりと、交流を楽しむことができました。劇以外にも、MCのお姉さん「あっちゃん」のリードで「幸せなら手を叩こう」の手遊びや、掛け合いも楽しむことができました。劇団「飛行船」の皆さん、日産労連・エルダークラブの皆さんに感謝申し上げます。



進路見学・校内実習（知的障害教育部門高等部1年）

進路専任 長谷川 潤

B部門高等部1年生は9月に進路見学、10月に校内実習を行いました。高等部3年間の進路指導の流れとしては、1年生は「知る」という経験を積みながら生活や仕事について興味・関心をもってもらいます。

進路見学では、福祉的就労を見据えて6事業所を見学、企業就労を見据えて3企業を見学しました。初めての社会見学で緊張した生徒もいましたが、1日有意義な時間を過ごすことができました。

校内実習では、企業や福祉事業所から受注を受けた業務内容で、5日間校内で実習を行いました。長時間仕事に取り組むことで、「働くこと」への意識も変わってきました。今後は進路面談などを通して、担任と保護者と本人で進路の方向性などを確認していき、進路先を「自己選択」、「自己決定」ができるよう進めていきます。



府中療育センター祭に参加しました

主幹教諭 吉岡 美佳

10月25日（金）、26日（土）に開催された都立府中療育センターで開催された「府中療育センター祭」に、くぬぎ分教室、高等部の作業班、和太鼓部が参加しました。くぬぎ分教室や和太鼓部はコロナ禍も動画等で継続して参加してきましたが、作業班による販売活動や和太鼓による生演奏は、6年ぶりとなりました。療育センターの皆さんとの楽しい交流の様子を御報告いたします。

府中療育センター祭① ジャガイモ栽培映像発表（くぬぎ分教室）

くぬぎ分教室主任 片岡 雅彦

くぬぎ分教室は今年度もDVDの映像発表の形で参加させていただきました。これまでは劇を映像にして発表していましたが、今回は1学期に生活単元学習で取り組んだジャガイモ栽培をドキュメンタリー形式で綴るといふ新しい取組を行いました。題名は「わたしたちのジャガイモ栽培記録～プロジェクトP～」。くぬぎ分教室の児童・生徒のたくさんの驚き、発見、頑張りや温かい思いを栄養にして、小さな種芋が大きく成長していく様子を映像にまとめました。自分たちでできる動作を通して、経験し学んだこと、頑張ったことを振り返る貴重な経験となりました。府中療育センター祭当日は、多くの方がモニターの前で足を止めて観てくださり、温かい言葉をかけていただきました。ありがとうございました。



府中療育センター祭② 作業製品販売（高等部 作業学習）

作業学習担当 笠 公輔

10月25日（金）の府中療育センター祭で、A部門高等部製品（クリアファイル）とB部門高等部製品（マドレーヌ、クッキー、一筆箋）を販売しました。当日は、B部門高等部2、3年生の生徒4名が参加し、買い物に来てくださったお客様に対して、元気よく丁寧な接客を行うことができました。生徒たちは、緊張しながらも一生懸命に「いらっしゃいませ。」や「いかがですか。」など、お客様に声を掛けることができました。その努力が実り、準備していた製品を完売することができました。お客様に購入していただくたびに、生徒は達成感を味わうことができ、販売することの大変さや楽しさを実感することができました。



府中療育センター祭③ 和太鼓部演奏（知的障害部門高等部 和太鼓部）

和太鼓部顧問 角之倉 宏彰

10月26日（土）に府中療育センター祭で太鼓の演奏と踊りを発表してきました。これまで練習してきた「生命の詩」「走楽」「にぎわい江戸楽」を生徒たちが自信をもって演奏してきました。一生懸命に演奏する生徒たちと観客が太鼓でつながり、観客の手拍子で会場が一体となって最高に盛り上がりました。最後はアンコールの声も頂き、緊張していた生徒たちも演奏をやり遂げた達成感で自信をつけることができました。演奏後には、くぬぎ分教室の仲間にも会うことができ、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



ボッチャ甲子園準優勝記念～横断幕～

パラスポーツ部顧問 中村 嘉人

第9回全国ボッチャ選抜甲子園準優勝を記念して、PTAの「子どものゆめ応援費」で横断幕を作製していただきました。スタジアム通り沿い、正門に向かって左側の校舎の壁面に設置してあります。様々な形で応援していただき、感謝の気持ちが原動力となり、さらなる励みになりました。ありがとうございました。



特体連ティーボール大会 準優勝！！

球技部顧問 小林 雅弥

令和6年10月3日(木)、第68回東京都特別支援学校・特別支援学級設置学校体育連盟ソフトボール・ティーボール大会に知的障害教育部門高等部の生徒9名が出場しました。試合結果は1勝1敗で2位を取ることができました。生徒たちにとって初めての大会でしたが、声を出してプレーをしたり、仲間を全力で応援したり、1日を通し充実した活動を行うことができました。御声援ありがとうございました。



インクルーシブ『ソーラン節』(小・中学部)

主幹教諭 谷川 裕子

令和6年10月6日(日)に、府中市立白糸台小学校の運動会において、府中市教育委員会の協力のもと本校小・中学部の児童・生徒5名が、白糸台小学校5年児童と一緒に「インクルーシブ『ソーラン節』」を踊りました。

日本財団パラスポーツサポートセンターと日本財団DIVERSITY IN THE ARTSが共同開発した「インクルーシブ『ソーラン節』」で、今回が全国初披露となりました。赤・青・黄・緑の4色に分かれた5年生集団に、本校児童・生徒もそれぞれ分かれて入り、お揃いのビブスを着用して踊りました。

座りパート、立ちパート、そして、車いすに乗っての参加となり、隊列や振付も一人一人異なりましたが、それぞれの児童・生徒が自分の持ち味を精一杯表現し、白糸台小5年児童とともに笑顔で踊り切った姿がとても印象的でした。

